

のり養殖通報第9報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議

平成29年12月22日発行

[気象]気温は低めで経過

- 気温は11月末までは平年を上回る日が多かったが、12月以降は一部の日を除いて平年を下回る日が続いている(図1)。
- 気象予報では、週末には寒さはいったん緩むものの週明けには冬型の気圧配置が強まり気温が平年を下回る日が続くと予想されている。

[海況]栄養塩は十分

- 12月20~21日の観測では、表層水温は内湾が11~13℃台、内房は12~14℃台。前年同期より1~2℃低い値となった。植物プランクトンは少なく透明度は概ね良好で、栄養塩量は12月初めの値とほぼ同水準で良質のノリの生産に必要な量が十分に含まれている(表1)。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では水温は12月上旬までは降下が鈍く16℃前後で推移していたが、中旬以降は順調に降下し現在は昨年より1~3℃低い14℃前後で経過している。

[今後の留意点] 良い場所を有効に

- 各地で収穫が行われていますが、木更津~富津地区では依然、ノリ芽の短縮化が続き、漁場全体での生育好転には至っていません。この短縮化は魚類、鳥類の食害や病害・育苗時の障害の影響など様々な要因が考えられます。
- 魚類の食害については水温の低下に伴い少しずつ弱まっていく見込みです。当面は岸よりの低水温漁場など比較的伸長が良い場所を有効に活用し、食害防止対策を施しながら状況好転を待ってください。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。

次回は1月9日頃発行します。

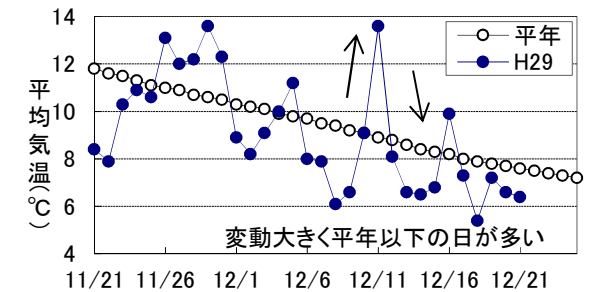


図1 日平均気温 平年との比較(千葉)

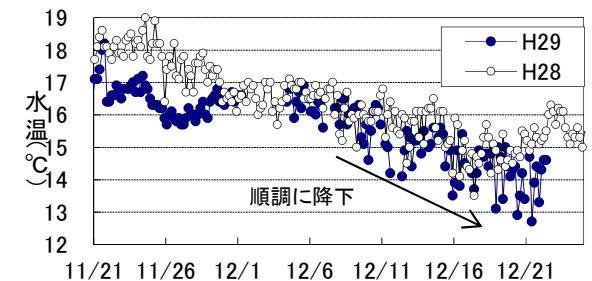


図2 昨年度と今年度の水温の比較(新富津観測ブイ)

表1 水質観測結果(内房12/20, 内湾12/21)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	11.9	31.0	8.3	5.4	631	41
盤洲Cブイ	13.1	31.7	8.3	6.5	521	34
盤洲Bブイ	12.7	31.7	8.3	7.5	513	33
盤洲Aブイ	13.0	32.0	8.3	7.0	457	31
富津ベタ	13.7	32.1	8.3	6.0	446	32
2海ほ下	13.0	32.5	8.3	5.0	377	28
1海ほ下	12.4	32.4	8.3	4.8	341	26
下洲ベタ	14.2	33.3	8.3	7.0	248	23
大貫ベタ	12.9	33.2	8.3	3.5	228	19

*溶存無機態窒素(μg/l)、**リン酸態リン(μg/l)

※高色調のノリの生産に必要なレベル 窒素110 リン8

ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル 窒素90 リン5